

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[情報](#)

[バージョン 1.0](#)

[3.x.x コード](#)

[ディスク セットアップ](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、バージョン 2 から 3 にアップグレードした場合の Content Engine のディスクパーティションを管理する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 情報

### バージョン 1.0

バージョン 2.x.x を実行する製造から提供される Cisco Content Engine は一般に前配分され、内部ディスクのカスタム セットアップはそれ以上のセットアップを必要としません。顧客は Web

キャッシュ通信プロトコル ( WCCP ) を使用してリダイレクト ルータで典型的なトランスペアレント キャッシングのための Content Engine を設定して自由ですかまたはプロキシで Content Engine を設定することを続行できます。

3.x では、デザイナーを提供する mediafs パーティション型の配信はメディア ストリーミングの準備をする機会追加されました。バージョン 3.x.x では、ユーザはディスクのパーティションサイズおよびメディアタイプをカスタマイズできます。キャッシュが新しい 3.x.x コードを実行していることがアップグレードしたい顧客をキャッシュして頻繁に分ります。これらの顧客はキャッシュに背部オンラインを得るために手動調整をする必要があります。

## 3.x.x コード

リリース 3.1 ソフトウェアは read または write リリース 2.x ディスクのパーティションできません。リリース 3.1 と利用可能なオプションのソフトウェアは新しいディスクのパーティションを作成することを必要とします。リリースの詳細については [Cisco Cache Software コンフィギュレーションガイド](#) の *Hard Disk Storage セクションの管理* を、[リリース 3.1](#) 3.1.1 ディスクのパーティション参照して下さい。

顧客は頻繁にディスクスペースの問題にバージョン 3.x.x への 2.x.x Content Engine を奪取した後動作します。

下記に Content Engine のディスクが後 3.1.1 アップグレード見えたものにです。

```
ContentEngine# show disk-partitions disk00Disk size in 512 byte blocks: 35566448num: type
start      size status-----0: SW      32 35566448
mounted1:  NONE2:      NONE3:      NONEFree disk space: 0 blocks (0 M) .Creating the sysfs
partition:
```

## ディスク セットアップ

ディスク セットアップ用に下記のステップに従って下さい。

1. disk01/00 で 100 メガバイト sysfs 配分を作成するディスクのパーティション EXEC コマ

```
ンドを発行して下さい。ContentEngine# disk partition disk01/00 100M sysfsContentEngine#
show disk-partitions disk01Disk size in 512 byte blocks: 35566448Disk size in 512 byte
blocks: 35566448num: type  start      size status-----0: SW      32 35566448
mounted0:  SYSFS    24896545  204800 unformatted,
unmounted1:  NONE2:      NONE3:      NONEFree disk space: 10465135 blocks ( M)
```

2. sysfs 形式 EXEC コマンドの発行によって sysfs 配分をフォーマットして下さい。

```
ContentEngine# sysfs format disk01/00Formatting sysfs on disk01/00Formatting disk01/00
sysfs okContentEngine# show disk-partitions disk01Disk size in 512 byte blocks:
35566448num: type  start      size status-----0:  SYSFS    24896545  204800 formatted,
unmounted1:  NONE2:CFS    32 10669934
mounted3:  MEDIAFS  10669966 14226579 mountedFree disk space: 10465135 blocks (5109 M)
```

3. ボリューム名 /local2 で sysfs 配分をマウントする sysfs 台紙 EXEC コマンドを発行して下

```
さい。ContentEngine# sysfs mount disk01/00 local2Checking sysfs on disk01/00disk01/00 has
been checked OKMounted disk01/00 to /local2ContentEngine# show disk-partitions disk01Disk
size in 512 byte blocks: 35566448num: type  start      size status-----0:  SYSFS    24896545  204800 mounted at local21:
NONE2:CFS    32 10669934
mounted3:  MEDIAFS  10669966 14226579 mountedFree disk space:
10465135 blocks (5109 M)
```

4 つまでのパーティションは同じ物理的なディスクで共存できますシステムに対して 1 つの swfs パーティションだけある場合もあります。ディスクのパーティションは異なるサイズがある場合があります。パーティションはブートアップかシステム再ロードシーケンスの間にマウントされるとき自動的にチェックされ、修理されます。

Command Line Interface ( CLI ) では、各ディスクはワード ディスクおよび 2 デイジット 識別子から作られる diskname と識別されます ( たとえば、disk00、disk01、disk02、等 )。パーティション名はディスク名前、フォワードスラッシュ 文字およびパーティション番号で構成されています ( たとえば、disk00/00、disk00/01、disk00/02、disk00/03、disk01/00、等 )。

ディスクのパーティションはシステムがストレージのためにそれを使用できる前にフォーマットされ、マウントする必要があります。ディスクの配分を作成するために、ディスクのパーティション EXEC コマンドを発行して下さい。、フォーマットするためにマウントし、異なる配分タイプをアンマウントするために、**cfs**、**mediafs** および **sysfs** EXEC コマンドを発行して下さい。

注swfs パーティションはソフトウェアアップグレード手順の一部としてプレインストールされか、またはアンマウントされるか、または修正することができません作成され。ディスク製造を発行すればディスクは全体のディスクに mediafs か cfs 配分タイプをする EXEC コマンドを準備します。規定されたディスクに関しては、どちらかのコマンドはすべての配分をアンマウントしが、すべての配分を消し、規定された配分タイプを作成し、ディスクをフォーマットします、**disk manufacture** コマンドだけ新しく作成された配分をマウントします。ディスクからのすべてか規定された配分を消すディスク **erase-all-partitions** およびディスク消去パーティション EXEC コマンドを発行して下さい。

Content Engine に利用可能なすべてのディスクを表示するために提示ディスク EXEC コマンドを発行して下さい。

```
ContentEngine# show disksdisk00(scsi host 0, channel 0, id 0)disk01(scsi host 0, channel 0, id 1)disk02(scsi host 3, channel 0, id 0)disk03(scsi host 3, channel 0, id 1)disk04(scsi host 3, channel 0, id 2)disk05(scsi host 3, channel 0, id 3)disk06(scsi host 3, channel 0, id 4)disk07(scsi host 3, channel 0, id 5)disk08(scsi host 3, channel 0, id 8)disk09(scsi host 3, channel 0, id 9)
```

特定のディスクの配分を表示するために、**show disk-partitions diskname** EXEC コマンドを発行して下さい。

```
ContentEngine# show disk-partitions disk00Disk size in 512 byte blocks: 35566448num: type
start      size status-----0:          SWFS    32
14226579 System Reserved1:      SYSFS   14226611  21338112 mounted at local12:      NONE3:
NONE
```

提示 **sysfs** 音量を発行して下さい、それぞれ配分に情報点を表示する **cfs** 音量および **show mediafs volumes** EXEC コマンドを示して下さい。

## [関連情報](#)

- [Content Engine 500 シリーズ ハードウェア 設定 例](#)
- [Cisco Cache Software サポート](#)
- [Cisco Cache Engine 3.0 Software Download ページ](#) ( [登録ユーザのみ](#) )
- [Cisco Cache Engine 2.0 Software Download ページ](#) ( [登録ユーザのみ](#) )
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)